

実践研究福井ラウンドテーブル2025 Summer Sessions

Zone B 教師教育 Hybrid

専門職としての教師の資本と育成指標

孤立する専門職 から 協創する専門職へのトランスフォーム

教師たちの学びと育ちのビジョンを描く

19世紀に近代学校制度が確立して以来、教職は社会の発展に応じてその専門職像を変化・進化させてきました。そして三千年紀の夜明けを迎え、専門職として教職はいま、新たな変化の局面を迎えています。教師たちはもはや、実践の自由裁量と自律性を保障されながらも孤独による不安に苛まれやすい「孤立する専門職」ではなく、同僚や他の教育者たちと共に実践し、省察する「協働する専門職」であり、さらに、子どもたちとの協働探究を通じてより良い世界の扉を共にひらく「協創する専門職」にトランスフォームしようとしています。

それでは、こうした「協働する専門職」や「協創する専門職」へと教師たちがトランスフォームするために、どのような教員養成・教師教育の理念やマインドセットが求められるでしょうか。専門職として教師に求められる資質能力や職務環境はどのように再定義され、再デザインされる必要があるのでしょうか。

本セッションでは「専門職としての教師の資本」を手がかりにして、都道府県等で用いられる教員育成指標がどれだけその更新サイクルを教員研修改革とセットにして進められているのかに着目します。具体的には、(1) 福井県教育委員会による教員育成指標の更新、(2) 板橋区教育委員会による研修・デザインへの挑戦から、新たな教師たちの学びと育ちのビジョンを参会者のみなさまと共に描いていきます。

TIME SCHEDULE

2025.7.5.SAT 1430-1740 参加申込はこちらから→



1400-1430 オンライン接続

1430-1440 イントロダクション～専門職としての教師の資本と育成指標～

1440-1505 報告1 福井県の教員育成指標の更新サイクルとビジョン共有 福井県教育庁教職員課 遠藤 正宏 課長

1510-1535 報告2 板橋区の研修・デザインの挑戦 板橋区教育支援センター 堀内 雅一 統括指導主事

1535-1555 コメントと情報提供 文部科学省高等教育局専門教育課教員養成企画室 若林 徹 室長

1555-1605 休憩

1605-1635 グループ対話1 2つの報告とコメント・情報提供を受けての対話 → 登壇者への質問

1635-1700 パネル対話 参会者からの質問をふまえての登壇者による対話

1700-1720 グループ対話2 それぞれの文脈で教師たちの学びと育ちを支えるビジョン・方策の構想

1720-1740 グループ対話の共有と今後の展望

VENUE

対面会場 福井大学文京キャンパス教育系1号館6階コラボレーションホール1
オンライン会場 Zoom